▼ザロンチンシロップ　［内］

【重要度】　【一般製剤名】エトスクシミド　Ethosuximide　【分類】抗てんかん剤［欠神・運動発作］
【単位】▼5%シロップ
【常用量】■成人：0.45～1.0g/日■小児 0.15～0.6g/日
【用法】1 日 1～3 回
【透析患者への投与方法】常用量を HD 後に投与（12）【PD】減量の必要なし（12）
【保存期 CKD 患者への投与方法】GFR＞10mL/min：減量の必要なし，GFR＜10mL/min：75%に減量（12）
【特徴】コハク酸イミドの誘導体で主に小発作（欠神発作）の治療に適用される.
【主な副作用･毒性】SJS，再生不良性貧血，血球減少，過敏症，眠気，めまい，運動失調，消化器症状など
【F】不明（1）
【tmax】1～7hr（1）
【代謝】主に CYP3A4 で代謝（1）主代謝物はヒドロキシエチル誘導体で，そのままもしくはグルクロン酸抱合体として尿中に排泄（1）主代謝物に活性はない（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 25%（1）17～40%（12）【CL】0.008±0.002 L/hr/kg（1）
【t1/2】小児：33hr，成人：60hr（1）35～55hr（12）腎不全時も同じ（12）
【蛋白結合率】ほとんど結合しない（1）5%未満（12）
【Vd】0.7L/kg（1）0.6～0.9L/kg（12）
【MW】141.17
【透析性】HD 除去率 84.9%（1）
【O/W 係数】資料なし（1）【pKa】9.3【TDM のポイント】有効血中濃度 40～100μg/mL（1）
【相互作用】カルバマゼピン，ルフィナミドにより本剤の血中濃度が低下することがある（1）
【更新日】20221215

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。